



子育ての喜びを実感できる家庭教育！

みなさんは、「子育てをされていて、どのような時に良かったと感じますか？」との質問をされたら、どんな事が思い浮かびますか。

右の表（平成28年度家庭教育の総合的推進に関する調査研究：文科省）では、上位は次のとおりです。

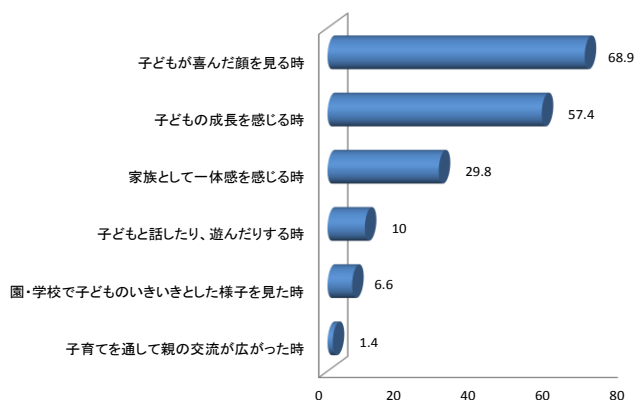
- ①子どもが喜んだ顔を見る時
- ②子どもの成長を感じる時
- ③家族として一体感を感じる時
- ④子どもと話したり、遊んだりする時

各学校の家庭教育学級では、子どもが喜ぶ体験活動

や子ども理解の講演会・読み聞かせ・料理教室等を開催し、子育てのヒントについて学ぶ工夫をしています。

それぞれの園・所・学校の素晴らしい企画や運営者の願い・年間計画から、大いに学び合ひましょう。

そして、どの家庭においても“子育ての喜びを実感できる”ように家庭教育学級をすすめていきましょう。



笠松双葉幼稚園

講演会＋親子体験活動参加型 8月28日(月)

「絵本作家 鈴木のりたけ先生と遊ぼう」

講師：絵本作家 鈴木 のりたけ 氏



運営者の願い

絵と言葉で紡ぎだされる絵本の世界や絵かき歌・見立て遊びに没頭することで、子どもの夢や想像力を豊かにすることができる楽しい体験を親子でしてほしい。

家庭教育学級の年間計画

- ①講演会「各国の家庭教育について」
 - ②絵本作家 鈴木のりたけ先生と遊ぼう（読み聞かせ）
 - ③手作りハロウィンパーティー
 - ④脳活性化プログラム・シナプソロジー体験学習
- ♥「話そう！語ろう！わが家の約束」運動 「親子で読書を楽しむ」

鈴木のりたけ先生は、新幹線の制服で登場。それは、新幹線の運転手として働いていたからだそうです。

デビュー作の『ケチャップマン』、他に『ぼくのおふろ』『つなげごと』『おつかいくん』『おえかきしりとり』『たべもんど』の読み聞かせがありました。

特に『ぼくのおふろ』では、ユニークなおふろが一杯でした。迷路おふろ・おふろビル・遊園地おふろ・宇宙おふろがあるのです。シーソー風呂・虹風呂も。

「絵かき歌 新幹線」で遊びました。アルプス一万尺の替え歌に合わせて描きます。おたまじゃくしに尻尾が2本、お髭も2本、目は半目。ライト2つ、お箸を2本、ぐるっと丸めてできあがり。（左上の絵）

「表現の10」では、1と0の形に切り取った紙で、色々なものに見立てる遊び。虫眼鏡・帽子・ちゃんまげ。最後に、車を作って、みんなで見合って楽しみました。

絵本と遊びで子どもの想像力育成の秘訣を学びました。

<参加者の感想>

子：『ぼくのおふろ』の話がおもしろかった。

子：新幹線を描くのが楽しかった。目をつけて、ライトもつけた。窓もいっぱいかいた。

子：『おならをならしたい』の本が大好きだ。

親：『ぼくのおふろ』では、色々な発想をしてもいいんだと想像力を刺激された。本は子どもの力を伸ばしたり広げたりすることができる。

親：新幹線の描き方を教えてもらったり、1と0で色々な見方ができたりしてとてもよかった。

岐阜市立加納幼稚園

加納幼稚園・岐阜東幼稚園の合同講演会型

10月6日(金)

「データと科学が証明する ここまでわかった幼児教育と家庭教育」

講師：岐阜市教育委員会 教育長 早川 三根夫 氏



配布資料にも、子育てのポイントあり。

<保護者の感想>

- ◇沢山の幼児教育情報が溢れる中で、家庭での関わりが一番大事だと再認識できた。愛情をかける。
- ◇本園の教育方針がいい影響を与えている。家では「あなたが私の宝物」とギュッと抱きしめたい。
- ◇絵本の読み聞かせ、宿題を直しまでできる習慣など、今すぐ実践できる内容なので続けたい。
- ◇園で教えられてきた事（早寝早起き朝ごはん、親子の会話等）が子どもの成長に重要だと学んだ。

運営者の願い

データや科学をもとにした最新の幼児教育と家庭教育について、早川教育長から話を聞いたり相談をしたりすることで、自信をもって子育てをしてほしい。

加納幼稚園 家庭教育学級の年間計画

- ①開講式、園長講話 ②園医の講話 ③合同講演会（早川教育長） ④家族参観講演会・製作 ⑤閉講式
- ⑥♥「話そう！語ろう！わが家の約束」運動 「いきいきチェック」

- データと科学を基に幼児教育・家庭教育を学びました。
- ①我慢できる子は、社会で成功。子どもの頃の自制心は大人まで継続する。仕事に成功する人は、やり抜く力をもつ。その能力は、努力によって変えられる。
 - ②学びに向かう力＝非認知能力は、学び続ける力。好奇心、協調性、がんばる力、自己統制、自己主張が重要。
 - ③幼児期の保護者の接し方が学力に関係する。毎朝朝食をとる。決まった時間に寝る。テレビ・ゲームの時間を限定。前日か朝に予定確認。絵本の読み聞かせ。
 - ④保育の質。ポジティブな養育・態度（元気で明るい、微笑み）・身体接触（抱きしめる、手をつなぐ）・子どもとのコミュニケーション。「あなたは私の宝物」と毎日言う。
 - ⑤幸せが成功に導く。ポジティブに考える（リスクをチャレンジに変える）。2分間トレーニング（毎日感謝していることを3つ書く）。意識して親切な行動をとる。

羽島市立中央中学校

体験活動参加型+子育てサロン型 10月4日(水)

「給食試食会・お菓子作り教室」

講師：パン・お菓子作り教室代表 藤井 明世 氏



里芋そぼろ煮、鱈の竜田揚げ、麦飯、貝だくさん味噌汁、牛乳デザート



鬼まんじゅう、卵・チーズ・バナナとヨーグルトのゼリー

<保護者の感想>

- ◇貝だくさんの味噌汁や鰯の揚げ物がカリッとしていて美味しい。ご飯の量が多いのにびっくり。
- ◇子どもが一堂に会して給食準備したり食事したりしている様子が見学でき安心した。
- ◇栄養教諭から、中2の子どもの食が細いと聞いてもっと朝ごはんをしっかり食べさせたい。
- ◇楽しみながらデザートを3つも作ることができ、お土産もあり、親同士で情報交換もできて満足。

運営者の願い

給食試食会や食育講話で子どもの配膳や給食の様子、栄養状況等を把握するとともに、お菓子作りを通して心を育てる家庭教育の在り方を学び、生かしてほしい。

家庭教育学級の年間計画

- ①情報モラル講話 ②高校見学（校内見学と意見交流）
- ③進路講話 ④給食試食会、食育講話、料理教室
- ⑤♥「話そう！語ろう！わが家の約束」運動 「ABK活動」応援

この日は、4つの活動がありました。市内でただ一つのランチルームで、給食試食会を行い、その席で生徒の配膳や食事の様子を見学しました。その後、栄養教諭から、給食の7つの目標や栄養基準、地産地消や季節料理の話をお聞きしました。朝食の栄養摂取の調査結果では、中2の子どもたちが少ないことも聞きました。

次に、お菓子作り教室が開催されました。「ちょっと上品な鬼まんじゅう、100%果汁とヨーグルト・生クリームを使ったゼリー、親子での思い出作りができるクッキー」を作りました。普段から手作りおやつを大切にしている人、めったに作らない人、それぞれが様々な情報交換をしながら仲良く楽しく作りました。

各委員さんが責任をもって準備をされ、当日も十分配慮をして進められていました。体験とサロンを組み合わせ、充実した家庭教育学級でした。

羽島市立中央小学校

講演会型+子育てサロン型 10月10日(火)

「目標に向かって生きる」 「子育てQ&A」(サロン)

講師： 児童文学作家 漆原 智良 氏
クレヨン画家 吉田 瑠美 氏



「目標に向かって生きる」

前半は、児童向けの講演と読み聞かせでした。
東日本大震災後の石巻に咲いた1本のひまわりの
「ど根性ひまわりのきーぼうちゃん」。被災地を忘れないで、励ましの心と負けない心を大切する物語。
「あかりちゃんのつうがくろ」は、あかりちゃんの
“この動物園を通して通いたいな”を実現してくれる温かくて優しい多くの人々の行動力の物語。
人の思いや願いが目標に向かう力になると学びました。

運営者の願い

「目標に向かって生きる」の講演と読み聞かせを楽しむとともに、漆原先生を囲んで子育てについて質問したり語り合ったりして自信をもって子育てをしてほしい。

家庭教育学級の年間計画

- ①開講式 ②情報モラル講習会、人権講話(子育てで大切にしたいこと) ③講演会(漆原智良先生)、子育てQ&A[サロン型] ④閉講式
- ⑤♥「話そう!語ろう!わが家の約束」運動「親子読書」

「子育てQ&A」(子育てサロン型)

後半は、参加保護者のみです。
漆原先生を囲んでの子育てトークで日頃の思いを語り合いました。



- Q『わが家の約束を生かしていきたいが、留意点は?』
A：決まりが多いと守らない。1つか2つにする。子どもと話し合って決める。その約束は必ず守る。守らなかった時は、真剣にしかる。怒るのではない。また、真剣に親の生きざまを語る。(1~2か月でまた話し合う)
- Q『“~なさい”ではない子育てをしたいが、自分の気持ちをコントロールできず、不安になる。その方法は?』
A：3秒待つと言葉が変わる。関わり方が変わる。
「ことばのまほう」に書いているが、事実をありのままに言うようにすること。本人にまかせること。
悩みは自分だけではないと気づき、元気や勇気をもらいました。

瑞穂市立巣南中学校

体験活動参加型+子育てサロン型 9月30日(土)

「パン作り教室」

講師：吉田パン教室代表 吉田 民恵 氏
(ジャパンホームベーキング)



照り焼きチキンパン、バターロール、パンサンスー、きのこの豆乳スープ

<参加者の感想>

- 子：自分で作ったパンやサラダは、いつもよりもとてもおいしくて、とても楽しかった。
子：料理が学べてよかった。パンを六の字に回すのが楽しく、照り焼きチキンパンは美味しかった。
親：家ではなかなか作れない手作りパンを他の親さんと一緒に交流しながら作れて楽しかった。
親：出来上がりに大満足。美味しくてお腹も大満足。家族への持ち帰りお土産もあって満足感一杯。
親：説明がわかりやすく、料理の苦手な私でも、楽しくできた。子どもの笑顔も見れてよかった。

運営者の願い

“笑顔で親子のコミュニケーション”のテーマを実現するためにパン作り教室に参加してもらい、子どもと一緒に料理したり話したりして笑顔になってほしい。

家庭教育学級の年間計画

- ①親子講演会、開級式、校長講話
- ②♥「話そう!語ろう!わが家の約束」運動「ネット・スマホ宣言」
- ③パン作り教室 ④進路説明会

参加者25名(子7名)が、作って・食べて・交流して、満足感いっぱいの時間を過ごしました。

まず、2種類のパン作りをしました。照り焼きチキンパン用に、45gずつ切り分け、丸めたその手のひらの中でパン生地を六の字に回して成型するのです。バターロール用は60gを成型。その間に照り焼きチキンを作り、パンに載せて焼きました。

焼いている間には、サラダとスープも作りました。子どもたちの慣れない手つきにも、やさしい声援や見守ることで子どもの自信や満足感につながっていきました。

参加した中学生は、料理好きの子が多く、肉じゃがを作ったとか、玉子ケーキを作ったと笑顔で話してくれました。親さんは、家では少しずつ触らせているそうで、一緒に作ることが楽しいと話されました。

このパン作り教室で、笑顔の子育て法を学び、保護者同士の交流を深めることができました。

羽島市立竹鼻小学校

在宅取組型（年間を通して）9月15日（金）

「親子あいさつ運動」

保護者

「おはようございます。
はい、丸つけたよ。」

保護者

「おはようございます。
班長、今日も頼むよ。」



子「おはようございます。
A班の〇〇です。」

子「おはよう。きのう、
テレビで〇〇見た？」

見守り隊「おはようございます。今日も元気だね。」
「時間になったらしっかり並んで行くよ。安全第一。」

運営者の願い

「絆を深め、笑顔あふれる親子にしよう」の願いのもと、今年、家庭での親子あいさつ運動を充実させ、あいさつを通して意思の疎通ができるようにしてほしい。

家庭教育学級の年間計画

- ①開講式（校長講話） ②研修 ③奉仕作業 ④親子教室1
- ⑤親子教室2 ⑥閉講式 ◇フラワー活動
- 年間を通して「親子あいさつ運動」に取り組む

「あいさつ運動」は、「あいさつランド はしまプロジェクト」として、竹鼻中校区（竹鼻小、福寿小、竹鼻中、羽島高）で十数年前から取り組み、PTAが各場所で挨拶をしていました。その後、校門にPTAが立って挨拶をするようになりました。

今年、一方的でなく、各家庭での「親子あいさつ運動」を展開することで、双方向の心の通う挨拶へと高め、各家庭の笑顔あふれる挨拶で絆を深めています。

64の集合場所では、保護者との挨拶交流ができるようにしています。共栄町では、「おはようございます。A班の〇〇です。」と自分の名前を伝え、顔を見て挨拶する習慣が身についており、お互いを大切にしようの心であいさつできていました。自己肯定感を高める挨拶です。

校区内86名の見守り隊も「〇〇さんおはようございます。今日も元気だね。」と目を合わせて挨拶や声掛けをしてくださり、地域の多くの人にも支えられています。

「親子あいさつ運動」によって、親子も地域も笑顔で一日のスタートをしています。

第2回岐阜地区家庭教育推進会議

平成29年10月18日（木） 会場：岐阜県立岐阜高等学校

「第2回岐阜地区生徒指導連携強化委員会及び岐阜地区家庭教育推進会議」が岐阜県立岐阜高等学校で開催されました。各市町の家庭教育担当者も含め約80名が参加しました。

主題：地域ぐるみで園児・児童生徒の健全育成をめざし、家庭・地域社会・学校がそれぞれの役割を果たし情報・行動連携を強め、児童生徒の自己指導能力を育成する。

～家庭教育を通して、問題行動の未然防止を図る～



「家庭教育支援推進事業」の説明

家庭教育支援員は、県下に3名配置。

①北方町は、教育委員会に配置。

町・園・学校主催の親子行事などに参加し、運営支援や情報収集・相談対応をする。生活習慣定着について保護者に助言する。

②海津市は、教育委員会に配置。

保護者向け講演会、教職員対象研修会。不登校（傾向）児童生徒の保護者会開催。

③中津川市は、文化スポーツ部に配置。

乳幼児学級の開催・運営サポート。子育てサポーター養成講座の運営支援。乳幼児期家庭教育リーダー研修会の開催。

「あったかい言葉かけ運動」のお願い

互いに「あったかい言葉」をかけ合い、思いやりあふれる温かい関係を作り出せば、いじめを未然に防げます。かけてもらって嬉しかった「あったかい言葉」を応募ください。

分科会「スマホ等で起こる問題への対応は？」

高校生：ルールを決めて使用制限をかけている。ゲームやラインをやり過ぎて親に預けた。チェーンメールは危ないからやめた。架空請求を受けた時、友達に相談した。写真添付はしない。親にメール内容を時々チェックされる。
大人：自分一人で悩まず相談してほしい。ルールを守ってほしい。次世代が安全に使用できるネット空間を考えてほしい。スマホは道具の一つ。使い方を間違えないことだ。